

平成31年産 大麦『ファイバースノウ』栽培こよみ

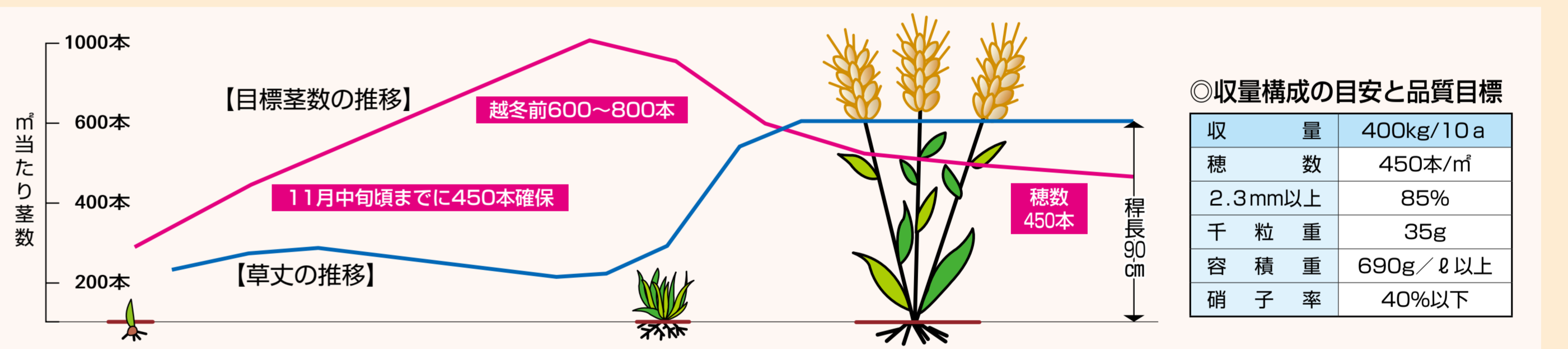
平成30年8月
アルプス農業協同組合
アルプス農協管内農業技術者協議会

大麦栽培のコツ： **① 早めの排水対策で単収を確保** **② 計画的なブロックローテーションで連作を回避**

9月	10月	11~12月	積雪期間	3月	4月	5月	6月
★播種前の排水対策は確実に	★耕起は丁寧に★適正播種量で苗立ち確保	★排水溝は随時手直しする			★赤かび病防除の徹底		★適期刈取りで高品質麦に
播種前の排水対策 ●稲刈り後、直ちに額縁排水溝を設置。 ●サブソイラによる心土破碎と弾丸暗渠の設置。 ポイント①	除草剤散布による効果 ●条間の雑草が少ない ●除草剤散布 ポイント② ●耕起前に粒状石灰石を150~200kg/10a施用 ポイント③ ●土壌pHの矯正 ポイント④ ●施肥・耕起・砕土・作溝・播種 ポイント⑤	●排水溝を補修して湿害を発生させない。 ●播種1ヶ月後の追肥により茎数(450本/m ²)を確保する(分施肥系の場合)。 ポイント⑥			●融雪直後に野そ駆除を実施する。 ●ただし、茎数が多い場合は施肥量を減らす(分施肥系の場合)。 ●消雪直後の追肥は遅れずに施用し、茎数を確保する。 ●ただし、葉色が濃い場合は施肥量を減らす(分施肥系の場合)。 ●品質の向上を図る。 ●止葉展開期の追肥は施肥時期と量を守り、粒の充実と ポイント⑦	●赤かび病の防除 ●1回目防除は穂揃期(開花始め) ●2回目防除は1回目から1週間後 ●防除効果を高めるため適期に防除 ●刈取り準備 ●異なる穀粒の混入を防止する ●刈取前に圃場内から除去する。 ●カラスノエンドウを徹底する。 ●ためにコンバインの清掃を ポイント⑧	●刈取りの目安 ●大豆や野菜栽培による高度 ●緑肥作物の作付けにより ●(額縁排水溝を設置する) ●地力増進等に努める。 ●(成熟期の麦の状態) ポイント⑨

発芽・苗立ち確保のポイント 単収向上には初期生育の確保が重要

- 排水対策 → ①稲刈り後、すぐに排水溝を設置 ②畦幅は3m以内
- 土壌改良 → ①石灰質資材の施用 ②堆肥の施用
- 適正播種 → ①10月上旬を中心とした播種 ②適正な播種量
- 播種後の管理 → ①雑草防除対策 ②排水溝の連結点検



ポイント① 排水対策

◎排水対策を確実にい行い生育量の確保に努める

- 水口はしっかり止める
- 額縁排水溝は早めに設置する
- 排水口は深く掘り下げる
- サブソイラ等による心土破碎で透水性を改善
- 播種直後に基幹排水溝を設置
- 排水溝は確実に連結する

畦幅は3m以内
排水溝 30cm
排水溝 20cm
額縁排水溝より深く掘り下げる

ポイント② 土づくり・播種

●土づくり(pH矯正)
 ●土壌改良資材を施用し、土壌のpH6以上を確保する
 ●深耕により作土深を確保し、根域を拡大させる
 ●基準となる基肥量を確実に施用する

●播種時期に応じ、適正量を播種する
 ①播種適期は10月上旬
 ②生育量を確保するため10月中旬までには播種を完了する
 ③栽培面積が大きい場合は9月末より乾いた圃場から計画的に播種する

施用時期	耕起前	播種時基肥(下記のいずれか)	播種1ヶ月後	消雪直後(2月下旬頃)	止葉展開期(4月上旬頃)
資材名	粒状石灰石 ※ 沖積土壌 150~ 洪積土壌 200kg	OLP大麦48号 45kg	-	- (追肥不要)	-
施用量	発酵けいふん(粒) 沖積土壌 150kg 洪積土壌 100kg	○ハイマックス 燐加安444 40kg	硫安 20kg	硫安 20kg以内 窒素過多の場合減肥	硫安 10kg以内 生育量等に応じ施用

※土壌診断の結果 酸性が強い場合は多めに施用する

播種期	目標苗立数(本/m ²)	播種量の目安(kg/10a)	
		ドリル播	表面散播
9月26~30日	140	6.0	6.5
10月上旬 (10月中旬)	150 (200)	6.5 (8.5)	7.0 (9.0)

※ドリル播種深度は3cm程度とする

ポイント④ 赤かび病防除

●適期に2回確実に実施!

施用時期	薬剤名	使用量及び散布液量(10aあたり)
1回目 穂揃期(開花始め)	トップジンM粉剤DL	4kg
	トップジンM水和剤	1,000倍 150ℓ
2回目 1回目散布の7日後	ワークアップ粉剤DL	3kg
	ワークアップフロアブル	2,000倍 150ℓ

▲赤かび病被害粒

ポイント③ 雑草防除

●播種後、速やかに除草剤を散布し、肥料成分が雑草に奪われるのを防ぐ。

除草剤名	使用時期	使用量及び散布液量(10aあたり)	使用方法	適用雑草
トレファノサイド乳剤	播種後発芽前(雑草発生前)	薬液 300mℓ・水 100ℓ	土壌表面散布	一年生雑草 (ツククサ、カヤツリグサ、キク、アブラナ科を除く)
トレファノサイド粒剤2.5	播種後発芽前	4~5kg	土壌表面散布	一年生雑草
ボクサー	播種後~麦2葉期(雑草発生前~雑草発始期)	薬液 500mℓ・水 100ℓ	土壌表面散布	一年生雑草

※表面散播では使用できないので注意する

ポイント⑥ 緑肥作物による地力増進

●栽培体系と効果

●主な緑肥作物

作物	クロタラリア
生育特性	草長1.5~2m 生草量4t/10a程度
播種期	6月上旬~7月上旬
播種量	5~6kg/10a
すき込み時期	普通種: 播種後50~70日 広葉種: 播種後60~80日
特徴	窒素濃度は高く、土壌中での分解が速いため、肥料としての効果は高い

●栽培体系と効果

大麦(前年9月~当年6月)
 ↓
 クロタラリア(当年6月~9月)
 ↓
 水稲(翌年5月~9月)

●効果
 ・大麦跡圃場の雑草とカメムシの発生抑制
 ・緑肥作物による地力回復
 ・緑肥跡の水稲栽培における基肥減肥

※麦跡の緑肥栽培はカメムシ等対策により7月上旬までの播種としています。

※安全安心な大麦を生産、販売するために『生産記録簿兼 GAP チェックシート』を記帳・提出しましょう。